

## 株式会社Arent、業務ソフトにAIを組み込む「AIブースト戦略」を発表 ～5製品にAI機能を段階的に実装、試験導入を経て本格展開へ～

株式会社Arent（本社：東京都港区、代表取締役社長：鴨林広軌）は、業務用ソフトウェアにAIを違和感なく統合する新戦略「AIブースト戦略」を発表しました。

Arentは、建設業界に特化し、業務効率化やプロセス構築を支援するソフトウェアおよびサービスを提供してきました。これまではクライアント企業との共創による「DX事業」を軸に成長してきましたが、今後は自社開発やM&Aによって拡充してきた「プロダクト事業」の展開をさらに加速していきます。

今回発表した「AIブースト戦略」は、そのプロダクト事業の中核を担う新たな方針であり、業務ソフトにAI機能をシームレスに組み込むことで、より実務に即したAI活用を可能にします。

本日、この戦略の第一弾として、AI機能を搭載した5つのプロダクトを発表しました。一部は本日より提供を開始し、他は一部ユーザーへの先行展開・技術検証を経て、順次展開を予定しています。



**AIブースト戦略**

AIがデータをもとにシステムの操作を自動化  
業務システム内にAIを実装することで、既存システムを一気にアップデート！

5製品にAI機能を段階的に実装、試験導入を経て本格展開へ  
自社開発やM&Aによって拡充してきた「プロダクト事業」をAIブースト戦略でさらに加速

## AIブースト戦略とは

「AIブースト戦略」とは、AIを専用ツールとして別に用意するのではなく、業務用ソフトウェアそのものにAIを組み込むことで、ユーザーが特別な意識や操作を必要とせず、自然にAIの支援を受けられるようにする取り組みです。

従来の業務フローを維持したまま、普段の操作の延長でAIが自然にサポートする—そんな「業務に違和感なくなじむAI」の実装を目指しています。

※本戦略は、SaaSに限らず、一部パッケージ型製品にも適用しています。



## 既存のAI活用における課題

従来のAI活用には、以下のような課題がしばしば見られます。

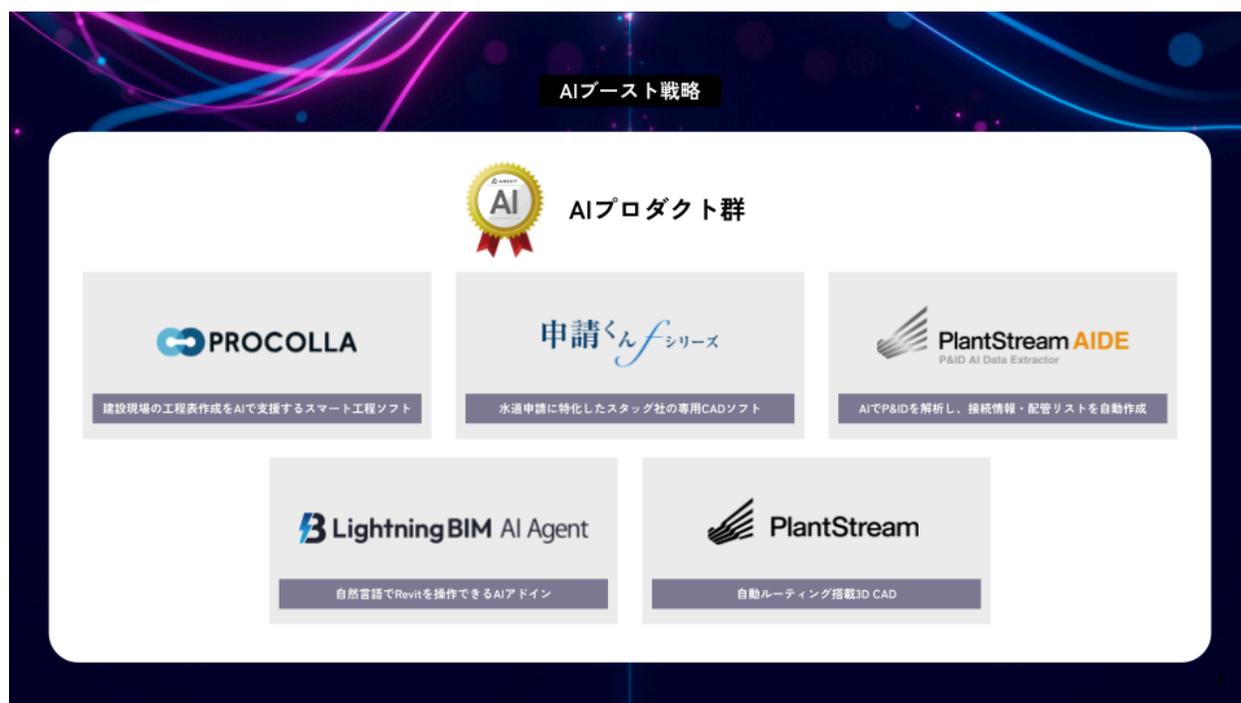
- 従来フローと異なる操作が求められ、現場導入のハードルが高い
- 作業を中断し、別のAIツールを立ち上げて質問・操作する必要がある
- 専門的なスキルが必要となり、活用が属人化しやすい

## この戦略のポイント

- AIを意識せず、いつも通りにソフトを使うだけで支援が受けられる
- 別のAIツールを立ち上げる必要がない
- 特別なスキルや教育を必要とせず、誰でもすぐに使える

## AI機能を実装した5製品、正式展開・技術検証を開始

Arentは、AIブースト戦略に基づき、業務ソフトの中にAIを自然に組み込む開発を進めてきました。このたび、建設業界向けに展開する以下の5つのSaaSプロダクトにAI機能を一体化し、本日正式にリリースいたしました。



- **申請くんf**  
図面上の壁や設備をAIが自動で認識し、図面作成の手間を軽減  
▶ <https://arent.co.jp/news/20250807-shinseikun-ai/>
- **PROCOLLA**  
建設現場の工程表作成をAIで支援するスマート工程ソフト  
▶ <https://arent.co.jp/news/20250807-procolla-new-release/>
- **PlantStream AIDE**  
AIでP&IDを解析し、接続情報・配管リストを自動作成  
▶ <https://arent.co.jp/news/20250807-plantstream-aide-new-release/>
- **Lightning BIM AI Agent**  
自然言語でRevitを操作できるAIアドイン  
▶ <https://arent.co.jp/news/20250807-lightningbimaiagent-new-release/>
- **PlantStream AI Agent機能とAPI連携**（技術検証・一部ユーザー協働で展開中）  
3Dモデル設計作業をAIがサポートし、設計作業の一部を半自動化  
▶ <https://arent.co.jp/news/20250807-plantstream-ai-api-new-release/>

## ▼AIブースト戦略に基づいて開発されたPROCOLLAのデモ動画はこちら

<https://youtu.be/W1GFNGxoSpY>

これらのプロダクトは、すべて「AIを意識せずに使える」という思想のもとで設計されており、現場での導入ハードルを下げながら、業務効率を高めることを目指しています。

## 株式会社Arentについて

「暗黙知を民主化する」をミッションに、建設業界のDXを推進する企業です。クライアント企業と共に課題解決に取り組む「DX事業」と、自社SaaSを展開する「プロダクト事業」の二軸で事業を展開しています。

BIMを誰でも直感的に扱えるように設計されたRevit向けプラグイン群「Lightning BIM」シリーズをはじめ、近年はM&Aを通じて「PlantStream®」「BUILD一貫シリーズ」「現場ナビ工程」「申請くんfシリーズ」などの製品をグループに加え、建設業界が抱える構造的な課題をテクノロジーの力で解決しています。

### 【会社概要】

会社名：株式会社Arent

所在地：東京都港区浜松町2-7-19 KDX浜松町ビル

代表者：代表取締役社長 鴨林広軌

設立：2012年7月2日

資本金：8億11百万円

事業内容：建設・プラント業界向けDX支援、システム開発・販売

Webサイト：<https://arent.co.jp/>